

ひがり

63

開祖さまのみ教え！

会長法話／人生の目的、願生！

お役に立って生きる（別願と本願）

願生

宗教法人 真生会

<http://www.shinsekai-world.or.jp>

第63号（通巻168号）

平成22年12月1日発行

真生会の教えとは！

法華經の教えをもとに

仏さまの願いである

《こころと世界の楽園づくり》を
目指している在家仏教の教団です
☆心と家庭と社会を楽園にし

世界の平和を築く

- 一人ひとりが人格の完成を目指す
- ・プラス発想の前向き人間になる
- ・家庭と社会に役立つ人間となる

表題の言葉

願が生しょう

私たちは偶然生まれて来たので
はありません。世の中のお役に
立ちたい、困っている人を仏さ
まの道に導きたいと願って生ま
れてきたのです。その願いに
沿った生き方に目覚めましょう

平成22年行く年

☆越年感謝・除夜の鐘

日時 十二月三十一日(大晦日)

夜十一時から深夜二時

場所 総本山真生寺

平成23年来る年

☆新年初詣

☆開祖さま生誕会 (元旦)

☆交通安全大祈願

日時 一月元旦、二日



午前十時～午後四時

場所 総本山真生寺

※各教会

※名古屋教会、所沢教会、大阪教会の新年初詣・開祖さま生誕会・交通安全大祈願は元旦のみです。
『仏さまの声』短冊は、総本山、各教会でもれなく授与致します。ご家族揃ってご参拝下さい。

☆新年祝寿祈願大法要

日時 一月十六日(日)

午前十時～午後一時

場所 総本山真生寺

※各教会(日時等詳しくはお尋ね下さい)

◎「左義長の儀」(総本山に於いて)

旧年度、真生会から授与されたお札様、福だるま、御守りや注連縄などのお焚き上げを厳修致します。



※人形、ビニール、プラスチック、金属、陶器類など不燃物はお焚き上げ出来ません。

開祖さまの み教え

支えられたり、支えたりが人生

人を育てることほど、むずかしいことはない。逆に人を育てるほど、楽しいことはない。

『人』という字を分析ぶんせきしてみましよう。

「ノ」「ハ」では字になりません。それぞれが支え合うから「人」となるのです。

上に立つ者は、常に下の者の支えがあつて今の自分があると考えるのが正しい。とかく部下の未熟みじゆくさ、欠点に執とらわれると、いらいらしたり、注意や指導をする心に怒りが充満するものである。

すでにこの時、上司といえども怒った方が勝負は負けであり、病気で言えば、胃が悪くなったり、手足に不自由を覚えるようになる。



逆に下の者は、未熟な自分も上の引き立てがあつてこそ、今日の活躍があると考えるのが正しい。されど、上司から注意や指導をされた時、むくれたり、よい返事が出来ないのであれば、既に上昇気流から落伍し、自ら墓穴^{ぼけつ}を掘っているのである。

頭痛や腸の病気になる人は、常に目上に逆らい不平不満を唱えた結果である。

女性であれば、生理は狂い、激しい痛みに襲われるのである。薬を飲んでも、心の切り替えをしない限り、完全なる健康は保てない。

我他人を敬えば、他人も亦^{また}我を敬う

(『真実に生きる』より)

会長ご真教法話

人生の目的、願生！

お役に立って生きる（別願と本願）

会長 田中 庸仁
たなか つねひと

私事になりますが、十月三十日、家内の母親が八十一歳で永眠いたしました。三十四歳の時、夫を事故で亡くし、以来四十五年間女手一つで、当時中学二年の長男を頭に小学校六年と二年の男の子、一歳半の長女を育て上げ、多くの人の支えと教えのお陰で十一人の孫、一人のひ孫を含む総勢二十一人の大家族に恵まれました。

一生を岐阜の奥深い山村で暮らした母でしたが、わが子やわが孫はもちろんのこと、

隣近所や訪れる方々に「ご法は間違いない。どんなことがあっても、ご法は離れてはいけない」と口癖のように言い、妙法の教えを伝え続けていました。

亡くなる前、病床から外孫である私の四人の子供に「おばあちゃんは、おじいちゃんを早く亡くして、難儀して難儀して四人の子供を育てたけれど、ご法のあるお陰で病気になってもみんなが毎日親切に看病してくれて、本当に親孝行で幸せだよ。みんなもご法をしっかりと学んで、世の中のお役に立つ親孝行な子になるんだよ」と最後まで教えを伝え続けた言葉が子供たちへの遺言となりました。

そして、お通夜や葬儀には大勢の方が参

じて下さり、口々に「美代子さん（母の名）には、大変お世話になりました。いつもよく相談に乗ってもらいました。いろいろ教えてもらいました。」と感謝の言葉を頂きました。開祖さまの熱心なるご信者であつた義母は「私は死ぬまで生きる」と入寂されるその日まで、ご信者さんに法を伝え続けられた大恩師開祖さまと同じように生き、ご法を伝える菩薩行の一生でした。

かつて十萬億の仏を供養し 諸仏みもとの所において大願を成就して 衆生あわれを愍あはむが故にこの人間に生ずるなり（法師品第十）

私たちは偶然にこの世に生を受け、妙法の教えにめぐり合ったではありません。

前世のそのまた前世から、数え切れないくらい多くの仏様に仕えて徳を積み続け、個人的には仏の境地に達して何不自由のない幸せの中いるのだけれど「多くの人々に仏様の真理〓妙法をお伝えしたい、仏様と同じ真理の道を歩んでもらいたい」と願つて、自ら志願して五濁悪世ごじよくあくせのこの世に生まれてきたのです。これを「願生がんしょう」と言います。

この経を説かんが為の故に この諸の難事を忍ばん 我身命しんみょうを愛せず 但無上道を惜おしむ（勸持品第十三）

人生の多くの難事は、単なる罪や業ごうではなく、「願生」によつてこの世に生まれてきた使命に目覚めてほしいという、仏様の

大慈悲心の現れなのです。

さまざまな苦難をきっかけとして、すべての人を救いたい、無上道（仏の最高の悟り「法華経」）を世の人々に伝えて生きることが、すべての人間の「本願」なのです。人生の目的は「すべての人に備わっている仏性を磨き出すため、徳を積むために生まれてきた」のです。

義母は若くして夫を亡くすという大難事を乗り越え、深く法華経の教えに目覚め、一生をこの法を伝える菩薩行の人生とし、内には子や孫に外には縁ある人々にこの法を伝え続けたのです。夫を亡くすという過酷な出来事も、実は真の法華経行者となるための仏さまの計らいであったのです。

良い会社に勤めたい、幸せな結婚がしたい、高級車に乗りたい、新築の家に住みたい、出世がしたい、お金持ちになりたい、有名選手になりたい…という個人的な目標や夢は言わば「別願」です。

現代の世は、個人の幸せや夢を追い求める「別願」だけに偏ってしまい、世のため人のためという「本願」を忘れてしまっているのです。だから、仏様から「早く気づけ、早く目覚めよ」と苦難の現象が大慈悲の働きとして次々と与えられるのです。

国に正しい法（法華経）が行われなければ
三災七難が起る（立正安国論）

鎌倉時代に日蓮が予言したとおり、平成

の現代も日本人の信仰心は薄れ、自己中心の世の中になってしまいました。

☆他国侵逼たたくしんびつ（外国から攻められる）

中国の尖閣列島問題、ロシアの北方領土問題、アメリカの基地問題による不信感

☆自界叛逆じかいほんぎやく（内乱によって自滅する）

国会の与野党の足の引つ張り合い、無関心社会、家族の断絶など人心の乱れが日常化し、異常な円高、日本経済の弱体化、会社の倒産、三万人を超す自殺者、不登校、はじめ、離婚急増、無差別殺人、尊属殺人など国も企業も家庭も崩壊ほうかいしつゝあります。

☆人衆疾疫にんしゆしつやぐ（伝染病の蔓延まんえん）

鳥インフルエンザ、豚インフルエンザ、牛の口蹄疫こうていえきなどの大流行。

☆異常気象ひじふうかう（非時風雨、過時不雨、星宿せいしゆく変怪げ、日月薄蝕にちがつはくしよく）多発するゲリラ豪雨、猛暑と水不足による農作物の不作、熱中症による死者の増大：など。

まさに末法万年（仏滅後二千五百年）闘争堅固そうけんこの様相を呈ていしてきました。

今こそ、われわれ法華経信仰者が本願の使命に目覚め、ご法に導くという真の救いと真の平和世界、寂光浄土じやくくわうじやうど（真生楽園）実現のために種人たねびととなつて、先ず家庭での実践に励み、家族皆信仰を實現しましょう。
貧しきを恵み つらきをいたわりて

なお法の道 説き聞かせなむ

仏さまの教えにお導きすることが本当の慈悲なのです。

みんなのギャラリー

※絵、写真、俳句、短歌、詩など
あなたの作品をご投稿下さい!!



「秋容焼岳（上高地）」

★市展賞（各務原市）★
加藤圭子（岐阜教会会員）

今月の運勢(12月)

(2010年12月7日～2011年1月5日)

一 白水星

年の暮れを迎え何かと忙しくなるが、今月は落ち着いたゆとりのある生活を心掛けたい。周囲の動きがよく見え気になることが多いが、周りに温かい感謝の言葉をかけよう。

二 黒土星

忙しい月を迎えた。目上とのコミュニケーションが大切。相手の話をしっかり聞いて、心を汲み取ろう。今月はジタバタせず、じっくり事を運びたい。恩人に暮れの挨拶を。

三 碧木星

今年の運氣低迷も脱出。一年の締めくくり

を支えてくれた仲間や友人と食事会をし、一年の反省や来年の抱負を語り合いたい。そして、家族の応援は計り

知れない。家族に感謝の言葉を伝えよう。

四 緑木星

静と動の行動をしなくてはいけない切りかえの月。無理な動きをすると失うものが多い。流れに任せて慎重に動こう。気配りと行動はしっかりと。先祖供養や親孝行、奉仕活動を

五 黄土星

周囲の事がよく見え、周りから注目を浴び、勘もさえ、大いに活躍

が出来る。しかし、言動と身なりには注意を。言葉使いや話した

内容が批判の対象になるから気をつけたい。

六 白金星

運氣低迷の月。体調も優れず、気分がのらず、予想外の出来事が起こる可能性があるが、ジタバタせずに丁寧に腹をすえて事にあたれば好転する。今月はゆとりを持ってすごそう。教会でお参りを。

七 赤金星

運氣が上向いてきたが、コツコツと慌てずに進もう。今月は自分の周りに人が集まってくる。相手と心を合わ

せれば事はうまく動く。交通规则を守り、

トラブルに注意。

八 白土星

ようやく困難だった時期が終わり、年末にかけて好調な時期に入った。これまでの苦労が実って明るく楽しい師走となる。自信を持って考えている事を進めるとも良い。

九 紫火星

運氣は最高。高運氣の最中だから積極的に関わりたい。大きな発展が期待できる。周りの人との強調を大切に進めば成果につながる。あとは、柔らかな言葉と優しい姿勢で。

こころの扉

生きがいを感じるのは
ゴールに入った時ではなく
走っている時である
結果より
やって来た過程が大切
休暇もとらず
過労で命を縮めるのではなく
平素の不平と不満
喜びのない生活が
命を縮めるのである

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1 - 9 - 5
T E L 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |

”ひかり”購読無料 上記最寄の教会にハガキにて
お申込み下さい。必要な冊数を毎月無料でお送りします。